

# 米農務省(USDA)クロープリポート

(11/9発表)

フジフューチャーズ株式会社(情報企画課)

22年11月17日(水)

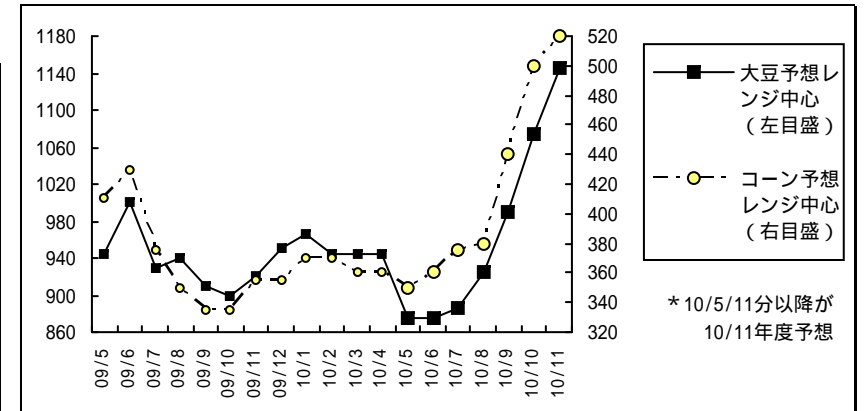
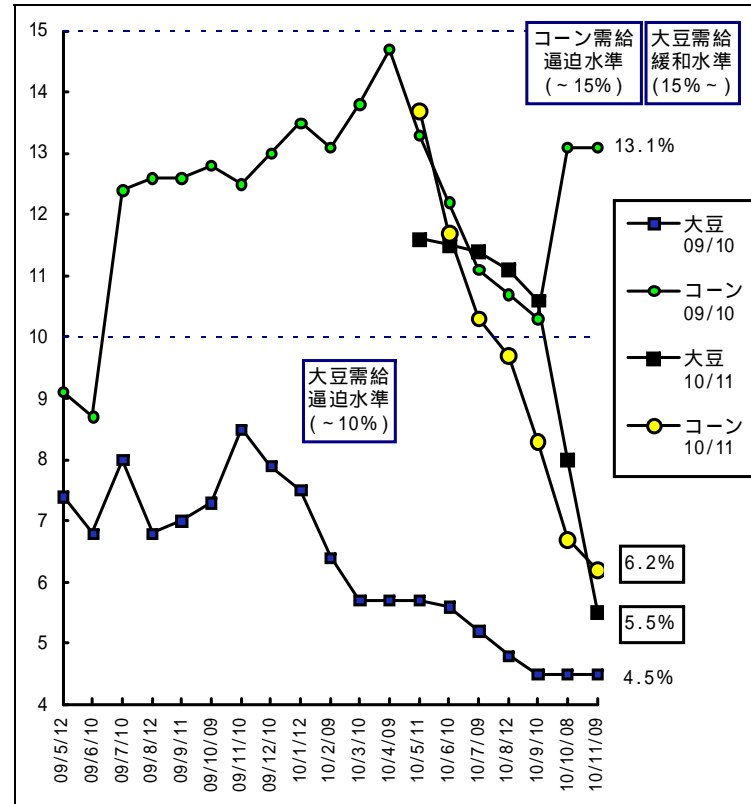
米国大豆需給予想 (単位: 100万 bu)

発表日	10/11 年度		09/10 年度	
	11/9	10/8	11/9	10/8
総供給	3536	3569	3512	3512
期初在庫	151	151	138	138
生産	3375	3408	3359	3359
単収(bu/I-カー)	43.9	44.4	44.0	44.0
総需要	3351	3305	3361	3361
国内	1543	1785	1493	1863
輸出	1570	1520	1501	1498
期末在庫	185	265	151	151
期末在庫率	5.5%	8.0%	4.5%	4.5%
農家平均価格	1070-1220	1000-1150	959	959

米国コーン需給予想 (単位: 100万 bu)

発表日	10/11 年度		09/10 年度	
	11/9	10/8	11/9	10/8
総供給	14257	14382	14792	14791
期初在庫	1708	1708	1673	1673
生産	12540	12664	13110	13110
単収(bu/I-カー)	154.3	155.8	164.7	164.7
総需要	13430	13480	13084	13084
国内	11480	11480	11098	11097
輸出	1950	2000	1987	1987
期末在庫	827	902	1708	1708
期末在庫率	6.2%	6.7%	13.1%	13.1%
農家平均価格	480-560	460-540	355	355

米国大豆・コーン期末在庫率予想の推移



農家平均価格(現物相場)予想の推移

10/11 年度の期末在庫率予想は

**大豆 [5.5%] = 需給逼迫水準** 米国内の需給予想(10/11 年度分)は、前回から「期初在庫変わらず、生産高 0.33 億 bu 減」に対して「輸出 0.50 億 bu 増」となり、期末在庫 0.80 億 bu 減・同在庫率 2.5 ポイント低下。農家平均価格(現物相場)予想の中心は 70 セントも引き上げられた。世界全体の期末在庫予想はほぼ据え置き。主要国では、中国の需要・期末在庫予想が上方修正(輸入が大きく増加。前年度の輸入増加により期初在庫も増加)。

**コーン [6.2%] = 需給逼迫水準** 米国内の需給予想(10/11 年度分)は、前回から「期初在庫変わらず、生産高 1.24 億 bu 減」に対して「国内消費変わらず、輸出 0.50 億 bu 減」となり、期末在庫 0.75 億 bu 減・同在庫率 0.5 ポイント低下。農家平均価格(現物相場)予想の中心は 20 セント引き上げられた。世界全体の期末在庫予想も下方修正(米国のエタノール生産、消費量が初めて急拡大した 2006~07 年以来、最低の在庫水準)。

今回の発表は、事前予想との比較で「コーンが弱気寄り、大豆が強気寄り」の内容(概ね予想の範囲内)。